

## オイシックスドット大地、アカマイの配信サービス上で サイトの HTTP/2 化を 1 ヶ月で実現、ページ表示速度を 20%改善

### ウェブサイトのパフォーマンス改善でユーザーの滞在時間も向上

世界最大、かつ最も信頼性の高いクラウド・デリバリー・プラットフォームを有するアカマイ・テクノロジーズ合同会社（本社：東京都中央区、職務執行者社長：徳永信二、以下「アカマイ」）は、オイシックスドット大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平、以下「オイシックスドット大地」）がアカマイの配信サービス上で HTTP/2 化を実現したことを発表しました。

#### 背景・概要：

オイシックスドット大地は、有機野菜や無添加加工食品など安全性に配慮した食品、食材の販売を行うネットスーパーサービス「Oisix」を運営しています。約 15 万人の会員（2017 年 6 月現在）を抱える Oisix は、月間のページビューが 2,000 万 PV を数えます。消費者の食の安全志向もあり、会員数、ページビューともに右肩上がりが増えていきます。特に昨今ではモバイルユーザーが急増しており、全アクセスの 7 割を超えています。また、ユーザーのアクティブ率が高いことも同サービスの特徴の 1 つです。

そういったことから、Oisix ユーザーの利便性を高め会員数増加につなげるため、Web パフォーマンスを確保するインフラ整備は重要な取り組みでした。オイシックスドット大地は性能と安定性を見込んで 2014 年に他社 CDN からアカマイに切り替えました。定期的にアクセスが集中しやすいタイミングがあったり、高解像度の画像が多用されているなどパフォーマンス低下につながりかねないポイントがありながらも、切り替え後は一貫して安定した配信を提供しています。

#### HTTP/2 への対応と効果：

さらに同社は、順調に成長を続ける Oisix が将来的なニーズに応えられる対策として、HTTP/2 へ対応することを決めました。HTTP/2 に対応することで Web パフォーマンスを向上することができると同時に、HTTP/2 では HTTPS 接続が必須とされているため、常時 SSL 化することで安全性を大幅に高めることができます。さらに、Google 等の検索エンジンが HTTPS 化されていない Web ページの評価を下げることを表明しており、SEO の観点からも将来的な対応は必須でした。

通常、HTTP/2 に対応するためには、Web ページや Web サーバだけでなくロードバランサーなど各種のシステムでの対応が必要となり、その改修やテストには大きなコストと長い検証期間が伴います。しか



し同社は、アカマイの配信サービス側で HTTP/2 対応を図ることで、オリジンサーバや Web ページを改修することなく約 1 ヶ月というごく短期間で導入を完了させることができました。さらに導入によってページ表示時間は従来比で約 20%短縮することができました。約半年の運用で、会員数やアクセス数、トラフィック量は順調に伸び続けており、ユーザーの滞在時間にも向上が見られ、パフォーマンスの改善効果の 1 つと見られています。

オイシックスドット大地のシステム本部 システム基盤部 部長の長尾優毅氏は「HTTP/2 への対応は Web サイト運営者にとって必須の課題です。アカマイのサービスを活用し、サイトやサーバなどの大掛かりな改修を行うことなく、短期間で HTTP/2 化を果たすことができました。この対応でパフォーマンスが 20%も改善したことは、想像以上の効果です。」と述べています。

アカマイ 社長の徳永信二は「今回、プレミアム性の高い食品を提供するオイシックスドット大地株式会社にアカマイの配信サービス上で HTTP/2 化を実現いただいたことを大変嬉しく思います。今日のウェブサイトやモバイルアプリケーションには、魅力的なコンテンツの提供と快適なパフォーマンスの両立が求められています。こうした中、アカマイのソリューションは今後ますます重要な役割を担うことになるかと確信しています。アカマイは、より速く、より安全かつ安定したインターネットソリューションを提供することにより、なお一層お客様に貢献してまいります」と語っています。

本事例の詳細はこちらでご覧いただけます。

<https://www.akamai.com/jp/ja/our-customers/customer-stories-oisixdotdaichi.jsp>

#### **アカマイについて：**

世界最大、かつ最も信頼性の高いクラウド・デリバリー・プラットフォームを有するアカマイは、デバイスや場所に関係なく、最高、かつ最もセキュアなデジタル体験をお客様に提供します。アカマイのプラットフォームは 130 ヶ国に 20 万台以上という比類のないスケールで展開されており、お客様に優れたパフォーマンスとセキュリティを提供しています。ウェブ/モバイルパフォーマンス、クラウドセキュリティ、エンタープライズアクセス、ビデオ・デリバリー・ソリューションによって構成されるアカマイのソリューションは、優れたカスタマーサービスと 365 日/24 時間体制の監視によって支えられています。グローバルトップの金融機関、e コマース事業者、メディア・エンターテインメント企業、政府機関等が、アカマイを信頼する理由について、<[www.akamai.com/jp/ja/](http://www.akamai.com/jp/ja/)> または <[blogs.akamai.com/jp/](http://blogs.akamai.com/jp/)> および Twitter の [@Akamai\\_jp](https://twitter.com/Akamai_jp) でご紹介しています。

#### **アカマイ・テクノロジーズ合同会社について：**

アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、1998 年に設立された、アカマイ・テクノロジーズ・インク（本社：米国マサチューセッツ州ケンブリッジ、最高経営責任者：Tom Leighton）が 100%出資する日本法人です。アカマイは、静的なコンテンツ配信だけでなく各種コンサート・スポーツ試合等の国内限定ス



トリーミング配信や Web アプリケーションなどの動的配信を多数実現し、日本国内では 350 社以上が当社サービスを利用しています。

※アカマイとアカマイ・ロゴは、アカマイ・テクノロジーズ・インクの商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに製品名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動しうるものです

本プレスリリースに関するお問い合わせ先 -----

◆ アカマイ・テクノロジーズ合同会社

マーケティング本部 広報担当：森 (Mail: [info\\_akamai@akamai.com](mailto:info_akamai@akamai.com))

◆ Akamai PR 事務局 (プラチナム内)

[TEL:03-5572-6071](tel:03-5572-6071) Mail: [akamai@vectorinc.co.jp](mailto:akamai@vectorinc.co.jp)